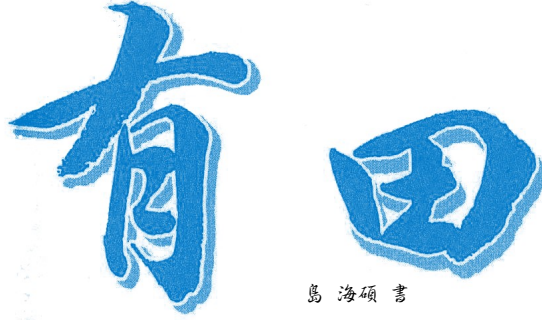


No. 2943

2019-2020年度

会 長 橋本 拓也
幹 事 中元耕一郎
R広報委員長 脇村 重徳



島海碩書

第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2019-2020年度クラブ方針

明日に繋がる活動

Activities for a brighter future



本日のプログラム

令和2年7月2日 第2944回

- ・初例会
- ・新旧引継・委嘱状授与 クラブ運営方針
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

令和2年7月9日 第2945回

- ・活動計画発表
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第2943回例会）

開催日 令和2年6月25日(木)

点 鐘 (橋本会長)

ニコニコ箱の報告 (岩橋SAA)

橋本君: 本日は最終例会です。一年間、会員の皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。

中元君: いよいよ本日で最終例会となりました。会員の皆様、一年間本当にありがとうございました。

成川(守)君: 橋本会長、中元幹事、理事・役員の皆様、一年間ご苦労様でした。

石垣(洋)君: 会長様、幹事様、理事・役員の皆様、一年間大変お世話になり、ありがとうございました。会長様、記念品ありがとうございました。

上野山(捷)君: 会長、幹事、役員の皆様、一年間本当にお世話になり、ありがとうございました。

橋爪(正)君: 後半、コロナで大変な運営、ご苦労さまでした。橋本会長、中元幹事をはじめとする役員の皆様、ありがとうございました。

児島君: 会長様始め、役員の皆様ご苦労さまでした。児嶋委員長様、誕生日プレゼント感動しました。

脇村君: コロナ騒ぎの中で、会長、幹事をはじめ、皆さんいろいろご苦労さまでした。

中村君: 橋本会長、中元幹事、一年間お疲れ様でした。今後とも宜しくお願い致します。

宮井君: お久しぶりです。今期コロナ対策で大変でしたね。本日最終例会ということで、橋本会長、中元幹事、役員・理事の皆さん一年間ご苦労さまでした。

岩本君: 会長、幹事様始め役員の皆様方、今期は世界的に大変でありましたが、諸事ご苦労様でした。会長、記

念品ありがとうございました。

松村君: 橋本会長、中元幹事、役員・理事の皆様、一年間お疲れ様でした。

上野山(栄)君: 橋本会長、中元幹事、一年間おつかれ様でした。感染症で思うようにならない半年であったと思いますが、うまく舵取りをして下さいました。

橋爪(誠)君: 橋本会長、中元幹事、コロナで大変な一年間でした。本当にご苦労様でした。引き続き、コロナ渦でクラブ運営頑張ってまいります。

川口君: 本日の最終例会、宜しくお願ひ致します。橋本会長、並びに役員の皆様、お疲れ様でした。

石垣(泰)君: 最終例会開催おめでとうございました。

丸山君: 橋本会長、中元幹事、一年間お疲れ様でした。新型コロナの影響で、後半活動できなかったのは無念だと思われませんが、より新しい生活、新しいロータリー活動の幕開けと、前向きに頑張っていきたいですね。

児嶋君: 最終例会、橋本会長、役員の皆様、お疲れ様でした。

福原君: 橋本会長、役員の皆様、一年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

北畑君: 本日、最終例会、橋本会長、一年間お疲れ様でした。

岩橋君: 橋本会長、中元幹事、後半は大変でしたが、一年間ご苦労様でした。

出席報告

本日の会員数29名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数29名
(出席規定免除会員9名)

会長の時間 (橋本会長)

「コロナで変わったこと」

今年流行した新型コロナウイルス、感染拡大で私たちの生活や行動が大きく変わりました。ロータリーの活動にも大きな支障をきたし、数か月間活動の自粛を余儀なくされる状況になりました。そしてその変化の中で如何にして順応していくのか色々な意味で模索していると思います。



私は、コロナでいくつかのことを学びました。

一つ目は、「初動が大切、躊躇してはダメ」という事です。今回のコロナへの世界中の国や地方自治体の対応を見ていると、早く対応した国や自治体と、状況を確認するのに時間をかけ決断を躊躇する国や自治体の感染拡大防止への効果に大きく差が出ました。私は有田RCの2月後半以降の活動自粛は、中村先生と中元先生のアドバイスを参考に決めましたが、結果としてよかったと思います。

二つ目は、「日本人の品格の良さ」です。国が緊急事態宣言を発しましたが、他の国が実施している罰則を伴う強制的な外出規制ではなく、強制力のないものでした。しかし、その緩い規制でも我々日本人は、多くの人が外出を控えました。世界中から見れば不思議に映ると思います。藤原正彦の「国家の品格」という本がありますが、まさに今回のコロナでの行動は、日本人の素晴らしい品格が出ているのではないのでしょうか。

三つ目は、「デジタル化の波に乗る事」です。電子マネー、ネット販売、在宅勤務、テレワーク、ZoomやYouTubeでのテレビ会議など。今までも存在していた機能ですが、今回のコロナで一気に普及拡大しました。私も、今年になってから電子マネーのPayPay、動画配信サービスのAmazon Prime、自販機のCokeOnなどに加入し、なるべく現金に触れない生活に変わりました。

四つ目は、「非常事態では安易に変わること」です。デジタル化もそうですが、普段は面倒なので嫌だと思っていることも、非常事態になると自然と順応できると思います。3密を避けた行動、リモートでの会議や仕事、ネットでの購入や遊びなど、「消費構造の変化」や「働き方の変化」を生み出していますが、これらが「自由時間の増加」「家族との時間の増加」に繋がっています。自分の生活や行動を変化に順応させ、自分に合った方向に変わらなければいけないと思います。

幹事報告 (中元幹事)

1、6月定例理事会の報告(2020年6月18日、Zoomでの開催)

①5月試算表の件について(承認):前年度第2分区分IM特別会計繰越金、R財団地区補助金返金額の科目追加についても承認された。



②2019-20年度余剰金の処理について(承認):今年度の見込み余剰金1,131,500円の内1,015,000円(35,000円×29名)は次年度の会費減額に充て、残りは次期繰越金とする。

③製本機:とじ太くん3000購入の件(¥7,480)(承認)

④事務所PC購入の件(¥156,384)(承認)

⑤2020年ロータリーバーチャル国際大会(6/20~6/26)の参加の件について(承認):バーチャル国際大会のサインアップするためのメールを各位に送り参加してもらおう。まだ、My Rotaryのアカウント登録されていない方には、アカウント登録を済ませてから、サインアップするようお願いする。サインアップできない方で閲覧を希望される方には録画で視聴してもらおう。

2、国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所より2021年度ロータリー台北国際大会の登録についてのお知らせが届く(橋爪エレクト、井上次期幹事、福原次期国際奉仕委員長にメールでお知らせする。)

3、国際ロータリー日本事務局より日本事務局の組織変更についてのお知らせが届く。

『2020年3月末での紙媒体資料の取扱い中止ならびに販売終了により、組織再編を進めて参りました。日本事務局では業務内容の見直しを図り「業務推進・資料室」を「業務推進・IT室」に変更することといたしました。』(橋爪エレクト、井上次期幹事にメールでお知らせする。)

4、雑誌The Rotarian回覧

近況報告



米山奨学生
任泰然君の近況報告を
ビデオメッセージで
いただきました。

一年を振り返って

「最終例会幹事挨拶」

2019-2020年度 有田ロータリークラブ
幹事 中元 耕一郎 君

まずは、すべての会員の皆様方に感謝の意を表したいと思えます。2度目の幹事となりましたが、伝統と誇りある有田ロータリークラブの幹事という大役を橋本会長のもと1年間務めさせて頂いたこと、また、会員の皆様方にも多大なるサポートを頂戴したことを心より感謝申し上げます。



さて、橋本年度のクラブターゲットは『明日に繋がる活

動』でした。その詳細につきましては、後ほど会長から述べられると思いますが、執行部の作戦としましては、前半は委員会活動を充実させ、後半は国際奉仕等の奉仕事業を重点的に実施する予定でした。そして、前期においては堅実に例会運営をこなし、外部卓話者のメンバーも充実し、夜間例会も2度開催し、積極的な委員会活動も奨励して順調にスタートを切りました。しかし、後期においては会員の皆さまもご存じのように、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、予定されていた箕島高校での職業紹介事業や、ミャンマーや、ホノルルへの渡航などがキャンセルを余儀なくされました。そんな緊急事態の中でも、橋本会長は冷静に陣頭指揮をとられ、「さくらんぼ」での遊具寄贈事業やミャンマーでの奉仕事業を断念することなく規模を縮小しながらも実施されました。また、感染症予防のため一時的に例会が取り止めとなりましたが、橋本会長はインターネットを使った例会運営や理事会開催を模索し、2020年5月よりその開催に漕ぎ着けました。そして、国際大会についてもWEBでのバーチャル国際大会への参加を呼びかけました。この新たなる試みは次年度以降にもきっと生かされると確信しています。

役員・理事の方々におかれましても、12回の定例理事会、11回の臨時理事会、次年度理事会も合算すると、実に33回もの理事会に参加し、適切でホットな議論を頂戴し、積極的なクラブ運営にご協力を賜ったことを深く御礼申し上げます。特にコロナウイルス感染症予防のため、的確なアドバイスを頂いた役員・理事の方々や中村吉伸先生にも厚く御礼申し上げます。

橋本会長の念願であった「ローターアクトクラブ設立」はコロナウイルス感染症のため完遂していませんが、「ローターアクトクラブ設立委員会」として、今後も議論を継続させる予定とのことです。会員の皆様、どうぞご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、今は何とか井上修平君に幹事のバトンを繋ぐことができ、ホッとしているのが正直なところです。また、事務局の御前様、就任1年目でしたが、何かとご無理を申しましたのに、迅速に対応してくださいました。心より感謝いたします。皆様、1年間、本当に有難うございました。

「一年を振り返って」

2019-2020年度 有田ロータリークラブ
会長 橋本 拓也 君

「人との繋がり」と「活動を楽しむ」ことに重点を置いた取り組みを通じて、将来の有田RCが明るい希望に満ちたクラブになれる活動をしたいという思いで、今年度のクラブターゲットを“明日に繋がる活動”とし、4つの基本的な活動方針を立てました。一つ目は、「より多くの若者と接する」事です。二つ目は、「皆さんが主役と



して活躍する」事です。三つ目は、「無理のない運営を追求する」事です。四つ目は、「国際奉仕を行う」事です。委員会活動については、情報を共有化し、全員参加を目指しました。

次に各委員会の活動を振り返りたいと思います。例会の設営と進行をして頂いたSAAには、ゆっくりと食事ができ、会員間のコミュニケーション促進に役立つようにして頂きました。モニターディスプレイを導入し、例会次第、ソングの歌詞、ゲスト紹介などを映し出し、分かり易い工夫をして頂きました。

クラブ奉仕委員会は、成川守彦PDGに大所高所から今年度の役員会を見守って頂きました。

会員組織委員会は、ガバナー公式訪問の日に、山口敦治君と大塚晴美さんが入会され、中野ガバナーからロータリーのエンブレム装着をして頂きました。2月に成戸文子さん、4月には嶋田ひでさんが退会されたのは非常に残念です。

情報・研修委員会は、前年度の規定審議会で承認された制定案に基づき、当クラブの定款・細則を変更して頂きました。また、曖昧になっていたメンターを整理できました。前期IDMでは、「委員会活動はどのように運営するのが良いか」をテーマに意見交換をし、例会場での委員会開催など参考になる意見を実際の運営に反映できました。後期IDMは「RA設立について」をテーマに、活発な意見交換が出来、次年度以降の活動の参考になるものと期待しています。

例会運営委員会は、8月にRAの方々を招いての外部卓話を皮切りに、松尾詩郎さんの「教えるから学び合うへ」、丸田隆ニューヨーク大学ロースクール兼担教授「トランプ大統領とアメリカの今後」、柳川敏彦和歌山県立医科大学保健看護学部学部長「子ども虐待予防のために私たちができること」、渡辺誠二ロータリーの友事務所所長「友あれこれ」、米山月間には任泰然君の「生活はチョコレート」の箱みたい」というテーマで彼自身の人生の話をして頂きました。小川裕康紀美野町副町長「住民活力で作るまちづくり」、有田中央高校生徒による「次世代農業とPR戦略」、山本康久那智勝浦病院院長「心に寄り添う医療～糖尿病専門医のつぶやき～」、西村崇 小学生バレーボール監督「小学生バレーボールと私」など大変興味深いテーマの外部卓話を実施することが出来ました。

親睦活動委員会は、9月12日みかん海道にあるテストイモネでお月見家族例会を開催し、福山ひでみ様の朗読、ブルースハープ奏者ミノ・ハーポ様の演奏を楽しみました。12月7日ゴールデンリバーでクリスマス例会を開催し、マジシャン松本竜也様の手品で楽しみました。1月9日ダイワロイネットホテル和歌山で新春夜間例会を開催し、和歌山出身のジャズシンガー神前理恵さんとピアノ奏者パクヨンセさんによるジャズは心に響く素晴らしい演奏でした。残念でしたが、予定されていた親睦家族旅行、親睦ゴルフ、ホノルル国際大会での親睦会は中止となりました。

ロータリー広報委員会は、毎週の週報発行で大変だったと思いますが委員会委員の皆様のLineを活用した編集で滞りなく発刊できたことは嬉しい限りです。ミャンマー国際奉仕や箕島高校との職業紹介事業などの活動

を、My Rotaryや友誌へ投稿を計画していましたが、事業が中止になり実現できなかったのが残念です。

職業奉仕委員会においては、川口健太郎委員長が委員会を活発に開催し、議事録を共有化してくれました。開催は出来ませんでした。県立箕島高等学校2年生を対象とした職業紹介事業「キャリアシミュレーション～地元企業と出会う～」は、箕島高校と打ち合わせを重ねました。また、1月23日には、川口委員長がご自身の仕事から思う「職業奉仕が仕事の根幹」を卓話して頂きました。

社会奉仕委員会は、7月7日「有田川クリーン作戦」に会員17名で参加して奉仕活動の口火を切りました。薬物乱用防止キャンペーン「ダメ。ゼッタイ」、「令和元年8月九州北部豪雨災害」、「台風15号及び19号災害」の義捐金活動を行いました。11月14日有田中央高校農業クラブの皆様へ、農業で「地元を盛り上げる」活動の卓話をして頂き、地元の若い人の頑張りを頼もしく感じました。4月16日会長・幹事・木本委員長でNPO法人さくらんぼへの遊具寄贈を行いました。

青少年奉仕委員会は、今年度の「より多くの若者と接する」というテーマを実現すべく取り組んで頂きました。頻りに委員会を開催し、RAについての検討を重ね、8月1日地区RAC直前会長左近悟氏、御坊RAC会長谷悠平氏にRAの現状について卓話をして頂き、地区RACの関係者の方々や元有田RAC会員など多くのオブザーバーの参加も得ました。例会終了後、RACに関する意見交換会を開催しました。10月24日には、丸山信二地区特別幹事にオブザーバーとして参加して頂き、「RAC復活について」というテーマでクラブフォーラムを開催し、会員間での意見交換をしました。11月14日理事会にてRAC設立に関する審議がなされ、「有田RAC設立検討委員会」を発足させました。

国際奉仕委員会は、国際大会への参加要請は最終的に同伴者を含め27名の申し込みを頂きましたが中止となりました。ミャンマー国際奉仕事業においても、大幅な計画変更を余儀なくされました。計画では米山学友会長の董涛君と元米山奨学生のポンピバック・ダーラさんも参加する活動を計画していましたが、コロナの影響で現地活動は中止し、参加予定者によるビデオメッセージを現地に送り、現地協力者に寄付事業のみを委託しました。

ロータリー財団委員会は、「ミャンマー国際奉仕事業」で地区補助金を申請しましたが、新型コロナウイルスの影響で肝心の農業セミナーが実施できず余剰補助金は返金しました。

米山記念奨学会委員会は、川口健太郎君がカウンセラーとして、任君の卓話への同行や、例会参加時の有田地域紹介など行ってくださいました。また、ポンピバック・ダーラさんと董涛君の近況を例会でビデオレター紹介出来ました。米山梅吉記念館創立50周年記念式典には、当クラブから5名が参加しました。

RAC設立検討委員会は、RACを設立するに際し、会員全員の理解と協力を得るために発足した委員会です。会員全員が設立に向けサポートして頂ける環境を整えることに重点を置いて活動してきました。後期IDMで浮き彫りになった課題を解決すべく取り組んでいく予定でした。しかし、新型コロナウイルスの影響で本年度の設立は難しいと判断し、第3回委員会をもって活動を休止することになりました。有田RCの将来の方向性にも大きな影響を及ぼす課題なので、次年度においても慎重に検討を重ねてほしいと願っています。

閉会・点鐘

(橋本会長)

最終例会 集合写真

